

## 「京都水族館（仮称）整備構想」への市民意見募集結果

本市では、「京都水族館（仮称）整備構想」の提案に対しまして、広く市民の皆様からの御意見や御提案をお伺いしましたところ、多数の御意見や御提案をいただきました。

いただいた御意見や御提案は、学識経験者等からなる「京都水族館（仮称）整備構想検討委員会」での公園施設の設置許可の妥当性の審議に当たっての貴重な資料として活用してまいりたいと考えています。

### ○ 意見募集の概要

#### 1 募集方法

「京都水族館（仮称）整備構想」の意見募集リーフレットを市役所案内所、各区役所・支所、梅小路公園等で配布するとともに、京都市情報館ホームページにも掲載し、郵送、ファックス、ホームページの御意見募集フォーム、電子メールのいずれかの方法で市民の皆様から御意見・御提案をお寄せいただきました。

#### 2 募集期間

平成20年9月19日（金）～平成20年10月21日（火）

#### 3 意見数

249通、467件

（郵送・持参65通、ファックス39通、ホームページ129通、電子メール16通）

※ 件数については、複数の意見がある場合、それぞれ1件とカウントしています。



「京都水族館（仮称）整備構想」  
意見募集リーフレット

## 寄せられた主な市民意見と本市、提案者の対応

- ・寄せられた意見のうち、主なものについて、その要旨と本市、提案者の対応を掲載しています。
- ・☆印のついている意見は、複数の方から寄せられた意見です。
- ・○印は本市の考え方、●印は提案者（オリックス不動産株式会社）の考え方です。

### 「環境」に関する御意見

#### 環境負荷

##### ☆1-1

京都議定書が締結された都市、環境モデル候補都市として大規模水族館はふさわしくないのではないかと。

##### ☆1-2

膨大なエネルギー（大量の水、電力、海水の運搬等）が使用され、大量のCO<sub>2</sub>が排出されるのではないかと。

##### 1-3

周辺地域の取水や水質汚染は大丈夫か。取水は地下水ではないか。

##### ☆1-4

排水の塩素濃度による下水道や下水処理場設備等への支障は。

#### 御意見に対する基本的な考え方

##### ○1-1

水族館に限らず、様々な事業活動に伴い、CO<sub>2</sub>が排出されることは避けることができませんが、地球温暖化対策に積極的に取り組んでいる本市としては、施設の特성에応じて、CO<sub>2</sub>の排出量をいかに最小限に抑えていくかが重要だと考えています。

提案者の説明によれば、ECO方式ろ過設備や海水再生システムの導入による排水量と海水輸送量の削減、自然エネルギーを活用した施設づくりなど、環境負荷の低減に努められていますが、建設を認めることとなった場合には、本市と致しましてもCO<sub>2</sub>の排出量削減の努力を求めています。

● 1-1

これまで実現できなかった内陸都市において、海の自然に触れる機会の少ない京都の子供たちに、素晴らしい海の自然や環境を体感してもらうことや、山・川・海などの関係性を表現していくこと、その取組自体が、環境モデル候補都市京都にふさわしい水族館ではないかと思料しています。

● 1-2

① 水の使用量については、海水補給量を減らす水処理設備を導入することで、従来の水族館と比較して1/10程度(約30t/日)の海水補給量に抑えます。また、海水を必要とするろ過器洗浄についても、一度水槽で使用した海水を再利用することで、新しい水を必要としません。併せて、これらの水処理システムにより排水量も低減します。

電力については、環境共生型水族館をテーマに掲げる当計画において、「環境配慮」は重要なキーワードであり、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた様々な工夫に取り組む予定です。

今回計画する水族館全体のCO<sub>2</sub>排出量は、従来型的水族館を内陸で設置する場合と比較して、10%以上は削減できるものと想定しています。

② 施設計画においては、緑豊かな梅小路公園との一体化を進める中で、自然エネルギーを活用した施設づくりを目指します。特に、お客様に楽しんでいただく展示観覧ゾーンを中心に、施設の一部屋外化を図り、自然光や自然換気のエリアを確保することで、必要電力量の削減につなげます。

建物の空調や照明の電力削減量としては、従来の水族館と比較して、20%程度を目標としています。

③ 海水の運搬については、人工海水を活用することで、港湾から長距離運搬輸送となる輸送海水は使用しない予定です。

輸送海水を使用しないことで、従来型水族館の海水輸送量から想定して、CO<sub>2</sub>排出量=年間1,500~2,000t程度(建物全体のCO<sub>2</sub>排出量の1/3~1/4に相当)が削減できる見込みです。

④ その他、環境負荷対策への取組

- ・窓面積を抑え、建物の外壁の高断熱化を図り熱負荷抑制
- ・排熱利用等による外気負荷抑制
- ・貯留した雨水を便所洗浄水などに再利用
- ・リサイクル建材(内装材,再生骨材等)の積極利用 等

● 1-3, ● 1-4

給水については、地下水ではなく、上水利用を想定しています。

給水,排水については、事前相談において、既存の設備で対応可能と聞いていますが、今後、上下水道局指導のもと、法令順守はもちろんのこと、万全を期していきます。

## 緑・自然

### ☆2-1

水族館が建設されると、公園の緑が失われる。梅小路公園のゆったりした豊かな自然とふれあいの場・市民の憩いの場が損なわれないようにしてほしい。

### ☆2-2

居留する野鳥や昆虫などへの悪影響が懸念される。

## 御意見に対する基本的な考え方

### ○2-1

水族館の整備提案箇所の大部分は京神倉庫跡地であり、梅小路公園の開園部分ではありません。また、提案箇所の南側の一部が公園部分にかかっていますが、当該箇所については、オープンスペースとしての整備が提案されています。建設を認めることとなった場合には、本市としても、提案箇所において可能な限り緑が確保され、既存の公園施設と調和して、これまで築いてきた梅小路公園の魅力が一層増進するよう、公園管理者として必要な条件を附していきたいと考えています。

### ●2-1

水族館の建物は、当該敷地の中で公園として未利用地の部分である京神倉庫跡地を中心に整備していく予定であり、緑地部分を極力減らさないように努めます。公園内の既存樹木は減りません。

完全にインドア型となる施設ではなく、屋外の展示観覧ゾーンや緑地、水盤などを多く確保し、公園との一体化を図ります。これらスペースは景観面での圧迫感などを抑え、公園と建物の融合を図る重要な役割を担います。

### ●2-2

梅小路公園は緑豊かな芝生広場等とともに、自然の生態系を復元した「いのちの森」があります。公園との一体化をテーマとする当計画としては、「いのちの森」や公園全体を運営する市都市緑化協会との連携は重要と考えており、公園全体の魅力向上や機能維持に協力していく所存です。

## 「周辺への影響」に関する御意見

### 交通渋滞・交通安全

☆1-1

交通渋滞が懸念される。

☆1-2

違法駐車・駐輪の増加が心配

☆1-3

小学校通学路の安全が心配

### 交通アクセス

☆2-1

京都駅からの徒歩ルートの整備を要望する。

☆2-2

シャトルバスの運行を提案する。

☆2-3

パークアンドライド・新交通体系の導入を提案する。

☆2-4

新駅を設置すればどうか。

☆2-5

駐車場は必要最低限にすべき。

☆2-6

駐車場の容量が足りないのでは。

☆2-7

年間200万人を処理できるのか。

### 御意見に対する基本的な考え方

○1-1～1-3, ○2-1～2-7

本市では、公共交通優先の歩いて楽しいまちづくりを進めており、建設を認めることとなった場合には、できる限り徒歩や公共交通機関の利用を促していきます。

このため、事業者や交通局、関係機関と連携しながら、京都駅からの分かりやすい歩行者ルートの確保や、既存バス路線の増便、シャトルバスの運行、パークアンドライドなど必要な対策を講じ、マイカー利用を最小限に抑えることとします。また、事業者に対しては、来園者に徒歩や公共交通機関の利用を呼び掛けていただくよう要請します。

ただし、マイカー利用者向けにも一定数の駐車場は確保する必要があると考えており、事業者による入場者数予測も勘案しながら、駐車待ちによる交通渋滞を招くことのないよう、現在の駐車場（約200台）の拡張も含めて、必要最低限の駐車台数を確保していきます。

● 2-1～2-7

京都市が公共交通優先の歩いて楽しいまちづくりを進めていることは十分承知しています。オープン前の宣伝に際しては、京都駅からの徒歩や公共交通の利用を積極的に呼び掛け、マイカーによる来場を極力抑制します。

**地域活性化**

☆ 3-1

歩道や街灯を整備することでも魅力的な店舗が立ち並び、周辺も活気ある元気なまちになってほしい。

**御意見に対する基本的な考え方**

○ 3-1

本市としても、水族館の開業により、都心部の貴重な憩いの場である梅小路公園が、現在の公園施設、蒸気機関車館とともに、家族連れから若者、お年寄りまで幅広い層の市民の皆様に更に親しまれ、楽しんで頂ける大きな交流拠点となり、周辺地域の活性化につながることを期待しています。

**その他（騒音、におい、ゴミ）**

☆ 4-1

住環境の悪化を心配する。

4-2

付近周辺の道路を含めて、騒音やゴミの無い清潔なまちづくりを希望する。

4-3

騒音（ポンプ音、放送音等）の程度は。

☆ 4-4

異臭はしないか。

4-5

ゴミがあふれるのではないか。

**御意見に対する基本的な考え方**

○ 4-1, ○ 4-2

周辺地域の生活環境が悪化しないよう、また今後も安心して居住して頂けるよう、騒音対策やにおい・ゴミ対策については、提案者に万全を期するように指導していきたいと考えています。

●4-1, ●4-3, ●4-4

動物や特殊設備等から生ずる水族館特有の臭気や音について、特に周辺でお住まいの方々にご迷惑のならないよう、万全の対策を講じます。

法令に定められる規制値を遵守することはもとより、防音、防臭に対する最善の策を講じていきます。

●4-5

廃棄物の種類にあわせ、分別を徹底し、法令に遵守しながら、周辺地域の皆様にご迷惑のならぬよう、適正な廃棄物処理、処分を行っていきます。

また、建設期間、運営期間を問わず、リサイクル活動を積極的に推進し、お客様も含め水族館全体に対して、ゴミ発生抑制への心がけを徹底周知していきます。

## 「財政負担」に関する御意見

### ☆1-1

財政状況が厳しい中で、市の税金を使うべきではない。

### ☆1-2

経営破綻したときに市民負担とならないか。

### 意見に対する基本的な考え方

#### ○1-1

水族館の建設及び管理運営は、提案者が独立採算で行うことから、建設・管理運営に関して、京都市の財政負担はありません。また、事業用地として市有地を賃貸しますが、土地使用料は、体験学習機能を有する都市公園法上の社会教育施設であるなどを考慮して、適正な価格を設定します。固定資産税（家屋、償却資産）等も負担していただきます。

#### ○1-2

設置許可を行うこととなった場合には、提案者に対して廃業のときは、建物を撤去して更地にする原状回復義務を課することとします。



## 「事業性」に関する御意見

### ☆1-1

経営破綻の際の建物撤去の担保を取るべき。

### ☆1-2

すぐ飽きられるのではないか（リピーターの確保が難しいのではないか）。

### ☆1-3

入場者数が過大ではないか。

### 御意見に対する基本的な考え方

#### ○1-1

「財政負担」に関する御意見のうちの○1-2の考え方と同じ。

#### ●1-2

新江ノ島水族館を含め、当方で検討している水族館は、観光施設として観光客を広い商圈範囲から獲得することよりも、まずは地域の皆様に愛され誇りに思ってもらえる施設を目指しています。

については、単に水槽を展示するというのではなく、「環境」や「いのち」の大切さを体感できる様々なサービスやソフトプログラム（体験学習プログラム等）に取り組むことによって、お客様が何度も訪れていただける施設づくりを目指しています。

#### ●1-3

初年度約180万人を集客した新江ノ島水族館の実績から、商圈人口<sup>※</sup>を江ノ島の3倍程度抱える当該計画地において、優れた立地条件を勘案し、初年度200万人を達成できる可能性はあるものと考えています。

※ 商圈人口：商圈を自動車運転時間距離＝1時間圏内に設定

新江ノ島水族館	約350万人
京都水族館（仮称）	約1,000万人（提案者調べ）

## 「施設」に関する御意見

☆1-1

公園の眺望が悪くなる。

☆1-2

圧迫感があるのでは。

☆1-3

梅小路公園の自然環境と調和した建物に。

### 御意見に対する基本的な考え方

●1-1～1-3

高さや日影に関する法令を遵守することはもとより、屋外の展示観覧ゾーンや緑地・親水空間などを多く確保し、これらのスペースにより圧迫感をおさえ、公園との一体化を図ります。

また、施設計画においては、以下のような内容を工夫し景観に配慮していきます。

計画施設（特に外構）において積極的に緑化を推進します。

高さ方向のボリューム感を抑えるため、建物全体を均一な高さとせず、各所毎に機能や諸室にあわせ、必要な建物高さを設定します。

施設の分節化や半屋外化を図り、建物としての圧迫感を低減させます。（城壁のような見え方を回避します。）

## 「展示内容・プログラムなど」に関する御意見

☆1-1

京都らしい展示をしてほしい。

☆1-2

淡水魚を展示してほしい。

☆1-3

海に近くないことを逆手に取り、来館者に楽しんでもらえる展示をしてほしい。

☆1-4

ショーを行わず、生物の生態や習性に配慮した学習の場として日本における新しい水族館としてほしい。

☆1-5

プログラムやイベントを充実してほしい。

### 御意見に対する基本的な考え方

●1-1～1-5

緑の豊富な梅小路公園の一角で、生き物や水とふれあいながら、自然や生命の大切さを体感できる施設、京都市にふさわしい「環境共生型水族館」を目指します。その上で、生き物の飼育展示やショーだけでなく、お客様にご満足いただける様々なサービスやソフトプログラムの提供に取り組みたいと考えています。

展示する生き物の検討は今後、本格的に進めていきますが、生き物の種類や内容を問わず、なぜその生き物を展示するのかということはしっかりと説明できるようにしていきたいと考えています。

今後、具体的な検討を進めていきますが、展示やプログラムについて、大きな方針としましては、ある特定種類の生き物を目玉にするのではなく、水族館の体験型活動を積極的に展開し、お客様と一緒に自然保護や環境配慮の大切さを考え、環境問題と向き合う機会を創出していきます。

豊かな水をたたえる京都のシンボルとも言える鴨川、桂川等の淡水の生態系も展示に取り入れていきたいと考えています。

## 「立地（京都不いし梅小路公園）」に関する御意見

### ☆1-1

広域避難場所としての機能が失われる。

### ☆1-2

イベントスペースが無くなる。

### ☆1-3

建てるなら近隣に住宅、学校等がなく、大きな駐車場が確保でき、交通渋滞が起きない場所で建設してほしい。

### 御意見に対する基本的な考え方

#### ○1-1

梅小路公園は、京都市地域防災計画の中で、安全面積\*10ヘクタール、収容可能人数5万人（2㎡/人）の広域避難場所として位置付けられていますが、水族館の整備提案箇所の大部分を占める京神倉庫跡地は、広域避難場所に含まれておりません。また、提案箇所の南側の一部が公園部分にかかっていますが、当該箇所については、オープンスペースとしての整備が提案されており、広域避難場所としての面積は一切減少することはありません。このため、水族館の建設により広域避難場所としての機能は失いません。

今後、水族館が整備されることになった場合は、消防局と詳細を協議していきます。

※ 安全面積とは、区域の全面積を収容可能面積とせず、一定の余裕を持って定めた面積。

梅小路公園開園面積11.7ヘクタールに対し、10ヘクタールが安全面積とされている。なお、2㎡/人は京都市の基準である。

#### ○1-2

提案箇所の南側の一部が公園部分にかかっている部分はイベントスペースとして、また、京神倉庫跡地はバックヤードとして利用されています。今後、水族館が整備されることになった場合、これらの場所を活用することができなくなりますので、大規模イベントの開催場所である芝生広場にできるだけ近い場所において代替スペースを確保していきたいと考えています。

#### ○1-3

駐車場、交通渋滞についての考え方は、「周辺への影響」に関する御意見のうちの○1-1～1-3、○2-1～2-7の考え方と同じ。

住宅、学校等への配慮に関しては、来園者の歩行ルート、車両の進入ルート、騒音、臭気など、周辺に著しい影響を生じさせないよう事業者に指導していきます。また、周辺住民等からの苦情等があった場合は、事業者において誠実かつ速やかに対応するよう指導していきます。

## 「その他の施設」に関する御意見

### ☆1-1

大切な市有地であり、市民のための有効利用を慎重に検討してほしい。

### 御意見に対する基本的な考え方

#### ○1-1

この土地は市民の財産である大切な市有地ですが、これまでバックヤード等としてしか利用しておらず、必ずしも有効な利用法ではありませんでした。こうした中、民間事業者による水族館建設の提案がありました。建設・管理運営は提案者の独立採算で行い、市の財政負担はないことから、民間活力を活用した施設整備のリーディングケースになるものです。

このため、設置許可を行うに際し、より慎重を期すために、専門家等からなる「京都水族館（仮称）整備構想検討委員会」を設置し、公開の場で審議いただくとともに、市民から意見募集も行い、慎重に検討を重ねていただいているところです。

本市としては、本検討委員会からいただくこととなります答申を最大限尊重して、対応を決定していきます。

なお、土地使用料及び固定資産税については、「財政負担」に関する御意見のうちの○1-1の考え方と同じ。

《市民意見の内訳》 意見件数 467件

区分	件数	主な意見（個別件数）
環境	92件	
環境負荷	47件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域の取水や水質汚染は大丈夫か。取水は地下水ではないか。</li> <li>・排水の塩素濃度による下水道や下水処理場設備等への支障は。</li> <li>・膨大なエネルギー（大量の水、電力、海水の運搬等）が使用され、大量のCO<sub>2</sub>が排出されるのではないか。</li> <li>・京都議定書が締結された都市、環境モデル候補都市として大規模水族館はふさわしくないのではないか。 など</li> </ul>
緑・自然	45件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅小路公園の維持管理等はどうなるのか。</li> <li>・居留する野鳥や昆虫などへの悪影響が懸念される。</li> <li>・水族館が建設されると、公園の緑が失われる。梅小路公園のゆったりした豊かな自然とのふれあいの場・市民の憩いの場が損なわれないようにしてほしい。 など</li> </ul>
周辺への影響	84件	
交通渋滞・交通安全	25件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞が懸念される。</li> <li>・違法駐車・駐輪の増加が心配</li> <li>・小学校通学路の安全が心配 など</li> </ul>
交通アクセス	30件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都駅からの徒歩ルートの整備を要望する。</li> <li>・シャトルバスの運行を提案する。</li> <li>・パークアンドライド・新交通体系の導入を提案する。</li> <li>・新駅を設置すればどうか。</li> <li>・駐車場は必要最低限にすべき。</li> <li>・駐車場の容量が足りないのでは。</li> <li>・年間200万人を処理できるのか。 など</li> </ul>
地域活性化	20件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅小路公園の付加価値が高まり、観光拠点としての魅力もアップする。</li> <li>・商店街など周辺地域の活性化につながる。</li> <li>・歩道や街灯を整備することでも魅力的な店舗が立ち並び、周辺も活気ある元気なまちになってほしい。</li> <li>・地元に廃棄物、人混み、雑踏、プラスチックのみを残すことにならないか。</li> <li>・水族館は観光（レジャー）施設であり、梅小路公園の施設としては異質</li> <li>・観光客が京都へ来るのは歴史や文化に触れるためであり、水族館へは来ない。 など</li> </ul>
その他（騒音、におい、ゴミ）	9件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付近周辺の道路を含めて、騒音やゴミの無い清潔なまちづくりを希望する。</li> <li>・騒音（ポンプ音、放送音等）の程度は。</li> <li>・異臭はしないか。</li> <li>・ゴミがあふれるのではないか。</li> <li>・住環境の悪化を心配する。 など</li> </ul>
財政負担	30件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借地料をきちんと取るべき。</li> <li>・経営破綻したときに市民負担とならないか。</li> <li>・財政状況が厳しい中で、市の税金を使うべきではない。</li> <li>・財政状況が厳しい中で、市民が安心して暮らせるまちづくり等を優先すべき。 など</li> </ul>

事業性	28件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営破綻の際の建物撤去の担保を取るべき。</li> <li>・入場者数が過大ではないか。</li> <li>・すぐ飽きられるのではないか（リピーターの確保が難しいのではないか）。</li> <li>・維持費がかかりすぎるのではないか。 など</li> </ul>
施設	37件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館は良い計画</li> <li>・教育施設， 娯楽施設， 観光施設， 癒しの施設として期待</li> <li>・子供連れで楽しめる施設が少ないので期待する。</li> <li>・子供のときから数多くの水生動物を見学することが将来に役立つ。</li> <li>・今までの水族館にはない新たな発想を， 特徴を（他の水族館との差別化）。</li> <li>・京都らしい建物にしてほしい。</li> <li>・梅小路公園の自然環境と調和した建物に。</li> <li>・公園の眺望が悪くなる。</li> <li>・圧迫感があるのでは。</li> <li>・サッカースタジアム等を併設してほしい。 など</li> </ul>
展示内容・プログラムなど	55件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都らしい展示をしてほしい。</li> <li>・淡水魚を展示してほしい。</li> <li>・海に近くないことを逆手に取り， 来館者に楽しんでもらえる展示をしてほしい。</li> <li>・水に触れる場所を他の水族館よりも多く。 五感を刺激するような水族館を。</li> <li>・ショーを行わず， 生物の生態や習性に配慮した学習の場として日本における新しい水族館としてほしい。</li> <li>・プログラムやイベントを充実してほしい。</li> <li>・市民には割引制度の導入を。</li> <li>・ポイント制など入場料やイベント参加料に環境や自然を守る仕掛けの導入を。</li> <li>・高額の入場料では市民が頻繁に行くことは考えにくい。</li> <li>・人工海水による運営は可能か。</li> <li>・海の生物は自然の海の中で生きるべき。</li> <li>・動物愛護と子供への教育の観点からも人間のエゴである。 など</li> </ul>
立地（京都不いし梅小路公園）	101件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域避難場所としての機能が失われる。</li> <li>・イベントスペースが無くなる。</li> <li>・建てるなら近隣に住宅， 学校等がなく， 大きな駐車場が確保でき， 交通渋滞が起きない場所で建設してほしい。</li> <li>・海のない古都京都に水族館はふさわしくない。 など</li> </ul>
その他の施設	33件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な市有地であり， 市民のための有効利用（水族館やサッカースタジアム以外）を慎重に検討してほしい。</li> <li>・水族館よりもサッカースタジアムを建設すべき。</li> <li>・動物園を充実すべき。</li> <li>・水族館よりも他の施策（サッカースタジアム， 動物園以外）を優先すべき。 など</li> </ul>
その他	7件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会を開催してほしい。 など</li> </ul>

